

平田本町商店街

(平田本町商店街振興組合)

島根県出雲市

！取組のポイント

商店街が主体となり、認知度の高いボードゲーム“人生ゲーム”を活かして、地域活性化に貢献。

取組の背景

商店街としての機能及び集客力低下からの脱却を目指して

平田本町商店街は住宅街に立地しており、来街者は主婦・高齢者が中心である。日常性の高い買い物がメインであり、その交通手段は自家用車が中心となっている。

1975年頃から道路拡幅整備事業に合わせて周辺建物の整備を行い、広い道路と歩道に面した近代的商店街となったが、1992年の郊外型大規模店の進出をきっかけに、来訪者・車両交通量は大きく減少し、以降、閉店・廃業・移転などにより商店街機能・集客力が落ち込む結果となった。さらに、平日の来街者の多くは銀行の利用者であって買い物を目的に商店街を訪れる人は少ない。

こうした中で従来のイベントを開いても店に人が入らないため、その現状を打開しようと、認知度の高いボードゲーム“人生ゲーム”の活用に行き着いた。

“人生ゲーム”スタート・ゴール地点の賑わい



取組の内容

地域の商店街で繰り広げられるリアル人生ゲーム

商店街で開催される「バラ色の人生ゲーム」は実際の街をすごろく(人生ゲーム)のボード盤に見立て、参加者に疑似通貨を渡し、ゴールした段階での所持金の多さを競うゲームである。

ルーレットを回して、出た目の商店へマップを見て移動し、商店でのふれあいを楽しむようになっている。また、ゲームで使用する通貨単位を「〇〇万かざり」に設定し、店舗(マス)に平田一式飾り宿を組み込むことで、地域の伝統文化に触れる機会を創出した。

初開催した2013年の翌年には、平田本町商店街のある出雲市と、人生ゲームの生みの親である株式会社タカラトミー、結婚相手紹介サービス業である株式会社ツヴァイが連携し、官民連携での地域活性化事業「いずも縁結び人生ゲーム」プロジェクトが始動。第1弾として出雲大社の門前町で「縁結び人生ゲーム」DE婚活ツアーが開催された。

ここで、人生ゲームを開催していく中で、個々の店舗の課題や継続実施をしていく上での課題が明白となってきたため、解決に向けて「個店の宝」再発見事業を実施した。この事業では、人生ゲームを開催する前に、専門家に個店へ訪問して頂き、相談やアドバイスにより、「強み」や「特徴」(個店の宝)を再認識する場を設けた。

また、過去のイベントの実施状況などをまとめ、今後これらを継続的に行っていくための手法や商店街の課題などを話し合うワークショップを開催するとともに、近隣観光地との連携についても調査検討を実施している。

人生ゲーム参加者の様子



取組の成果

“あの店また行ってみよう”が増加

人生ゲームのイベントを2年間で合計3回開催したところ、イベントが楽しかったと答えた方は、毎回95%以上。回を重ねるごとに地域外からの参加者が増加した。初回は折込チラシを見ての参加が半数以上だったが、小学校へチラシを配布したところ、そこからの参加が増加し、3回目の開催時には半数以上が小学校配布チラシを見ての参加となった。

初回は買い物をする参加者が少なく、売上げにつながらなかったのが課題だったが、2回目以降は買い物をした参加者が半数以上に増加し、再来店したいと興味を示す参加者がほとんどであった。

実施体制

当組合の理事長が全体総括・協力機関との調整を行い、2名の副理事長がイベントや体質強化などの事業総括を行った。事務局長は事業経理総括を担当した。

協力機関としては、木綿街道振興会、栄町商店会、東本町商店会、元町商店会、ひらた中高年者まちづくり企業組合、一畑電車株式会社が挙げられ、他に高校生ボランティアからも協力を受けている。また、平田商工会議所、NPO法人21世紀出雲産業支援センターから企画・運営支援を受け、出雲市商工労働課からは調査支援を受けた。

人生ゲームは高校生ボランティアの協力などにより運営



基本データ

| | |
|--------|--|
| 所在地 | 島根県出雲市平田町 |
| 人口 | 約17万人(出雲市) |
| 電話/FAX | 0853-63-4649/0853-63-4114 |
| 会員数 | 40名 |
| 店舗数 | 22店舗(買回り品小売店12、最寄品小売店2、飲食店5、サービス店2、その他1) |
| 商店街の類型 | 近隣型商店街 |
| 主な客層 | 主婦、高齢者、家族連れ |

キーパーソンからのコメント

平田本町商店街振興組合
理事長 平野 裕二



「平田一式飾」を活かしたテーマタウン構想の推進

1975年頃から道路拡幅整備事業に合わせて広い道路と歩道に面した近代的商店街となりました。今は、商店街の若手が中心になって「平田一式飾」の活用を考えたり、高齢者の買い物難民に対応するべく女性グループが仮設店舗でのイベント「ごちそう市」を毎週開催したりするなどして、商店街の活性化を進めています。

今回、出雲市重要無形文化財となった「一式飾り」を活用した全国初の取組「まちあそび人生ゲーム」を実施したことで、個店とまちの新たな魅力の発見につながりました。

地域伝統文化とまちあそびの融合

「まちあそび人生ゲーム」を通じて、今まで来たこともない商店街に、多くの友人同士や家族連れが訪れ、店員とルーレットでゲームを楽しみながら地域の商店の強みや魅力を知ってもらうことができている。ゲームの中に地域の伝統文化である「一式飾りのまち・平田」をPRする要素を取り入れ、地域ブランドの創出・伝承に取り組むことは、地域の活性化に効果的であると考え、継続していきたいと考えています。

商店街概要

平田本町商店街は、島根県の東部に位置する旧平田市にあり、2005年の合併により、出雲市の一部となった。当商店街は、これまで200年の歴史を持つ地域の伝統文化「平田一式飾」を活かしたテーマタウン構想の推進や、商店街の女性グループ(アスティママ)が「ごちそう市」を毎週木曜日に実施するなどの取組により、商店街の活性化を進めている。2013年には地域商店街活性化事業の採択を受け、街歩きのツールとして「人生ゲーム」の要素を取り入れたイベントを初開催するなどの取組を実施している。